

C S 端末用アクセス制限ツール利用状況 調査結果 (H16年11月)

Q1 C S 端末用アクセス制限ツールを適用していますか。

項 目	回答数	割合 (%)
適用している。	98	83.8
今後適用を予定している。	2	1.7
適用を検討している。	13	11.1
適用の予定はない。	4	3.4
計	117	100.0

Q2 Q1で と回答された市町村は、その理由をお聞かせ下さい。(複数回答可)

項 目	回答数	割合 (%)
ツールの機能がよく理解できないため。	0	0.0
Windowsログイン名が固定されてしまい、運用しづらいため。	1	25.0
敢えてアクセス制御機能を導入する必要性を感じていないため。	3	75.0
LASDEC等から、特に適用を求められていないため。	0	0.0
同様な機能を有する別のソフトウェアの導入を予定(検討)している。	0	0.0
計	4	100.0

Q3 C S 端末用アクセス制限ツールに対する改善要望、利用するにあたっての課題及び留意事項等があれば、以下にご記入ください。

- ・ Admiの権限を持つ職員は限られるため、年1回のパスワード変更の作業の際は、権限を持つ職員が全支所を回っている状況です。制限をかけているユーザーIDでもそのユーザーIDに対するパスワードの変更が可能になれば、変更作業が容易になると思います。
- ・ 利便性の向上
- ・ 町村単位では、住民登録部門以外が利用するケースが少なく、使用台数、使用者が特定され、多くのユーザーを作成して制限をかけるまでにいたっていないではないか、合併が進み、組織が大きくなることで本ツールが活用されていくと思う。